



ガラス防風・防雪板はポリカやアクリルに比べ  
汚れや傷が付きにくく、  
耐久性が高い為、半永久的に透明性が持続します。

### 副題

ガラス防風・防雪板の透視性により、年間を通して柵外の景観が確保できる常設タイプの防風・防雪柵

### 新規性及び期待される効果

①どこに新規性があるのか？（従来技術と比較して何を改善したのか？）

- 1) 従来型防雪柵では、冬期使用時の立ち上げ作業やオフシーズン時に柵外の景観を確保する為の収納作業が必要であったが、ドライバーや歩行者の目線高さにガラス防風・防雪板を使用する事で、年間を通して柵外の景観が確保できる為、防雪柵の立ち上げ・収納といった維持管理作業が不要となる。
- 2) 防風効果に優れており、防風柵としても使用できる。

②期待される効果は？（新技術活用のメリットは？）

- 1) 立ち上げ・収納作業が不要な為、作業時における安全性の問題が無くなる。
- 2) 立ち上げ・収納作業が不要な為、年2回の維持管理費用が不要となる。
- 3) 構造が単純で部品点数が少ない為、施工が簡単である。
- 4) ガラス防風・防雪板の使用により、遮音性能が期待できる。
- 5) 防風柵としても使用できる為、強風による交通障害の緩和が期待できる。
- 6) 柵上部に開口率のある防風・防雪板を使用する事により、乱流を防ぎ減風効果が期待できる。
- 7) 柵上部の防風・防雪板をポリカーボネート製にする事により、より優れた景観の確保が期待できる。

### 留意事項

支柱上部の形状は、広幅員道路まで対応可能な湾曲形状と従来の直立形状との2種類から選択できる。